

# オメガオイル株式会社

## 2021 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2021 年8月1日～ 2022 年7月31日)



作成日: 2022年10月5日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
許可の内容・廃棄物処理フロー	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

## □ごあいさつ

オメガオイル株式会社は、産業廃棄物処理を活動範囲とする企業です。

当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境にやさしい企業として新たな一步を踏み出しました。これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んでいくことを宣言します。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

我々は、産業廃棄物処理業者として、産業廃棄物の適正処理、再生可能資源の利用促進、不法投棄の抑止等産業廃棄物処理法の遵守は基より、持続可能な「循環型社会」の構築を目指すと共に、近年の地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的積極的に取り組みます。

### <環境保全への行動指針>

1. 受託量の安定的確保を図ります。
2. 受託した産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率の向上を図ると共に、一般廃棄物排出の削減に取り組みます。
3. 二酸化炭素排出量削減の為に省エネルギー（電力・ガソリン・軽油・LPG・灯油）削減に取り組みます。
4. 水使用量の削減に取り組みます。

これらについて、環境目標・環境活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

5. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
6. 地域での清掃活動等環境活動に積極的に参加します。
5. 本方針を全従業員に周知徹底いたします。

制定日：2015年 9月 30日

改定日：2022年 7月 1日

代表取締役 花榮佳介

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
オメガオイル株式会社  
代表取締役 花榮 佳介
- (2) 所在地  
本社・中間処理工場
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 工場長 仁木 真一
- (4) 事業内容  
産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物中間処理業
- (5) 事業の規模  
法人設立 昭和52年3月23日  
資本金 1,110 万円  
売上高 14,827 万円

	本社・中間処理工場	合計
従業員	7名	7名
延べ床面積	1,574 m <sup>2</sup>	1,574 m <sup>2</sup>

### 受託した産業廃棄物の処理量

産業廃棄物収集運搬量	自社収集運搬量		1962 t
	他社収集運搬量		412 t
中間処理量	2,374 t	うち再資源化量	862 t
最終処分量	12 t		
中間処理後の産廃の処分量	1,462 t	うち再資源化量	0 t

### 産業廃棄物収集運搬車両

車種	台数	最大積載量	備考
4 t タンクローリー車	1 台	2,960 kg	
4 t タンクローリー車	1 台	2,890 kg	
20 t タンクローリー車	1 台	18,000 kg	
4 t 貨物トラック	1 台	3,950 kg	
2 t 貨物トラック	1 台	2,000 kg	
4 t バキューム清掃車	1 台	2,650 kg	
4 t バキューム清掃車	1 台	2,650 kg	

### 産業廃棄物保管施設：本社・中間処理工場内

名称	台数	備考
屋内タンク貯蔵所	60 kℓ	20kℓタンク*3基
屋外貯蔵所	20 kℓ	ドラム缶 (200ℓ) 保管
油水分離ピット	20 kℓ	半地下油層
エマルジョン燃料化タンク	15 kℓ	15kℓタンク*1基
産業廃棄物積替え保管場	49 m <sup>2</sup>	
産業廃棄物積替え保管タンク	17 kℓ	17kℓタンク*1基

### 特別産業廃棄物保管施設：本社・中間処理工場内

名称	保管数量	備考
屋外貯蔵所	11.6 kℓ	ドラム缶 (200ℓ) 保管

## □認証・登録の対象組織・活動

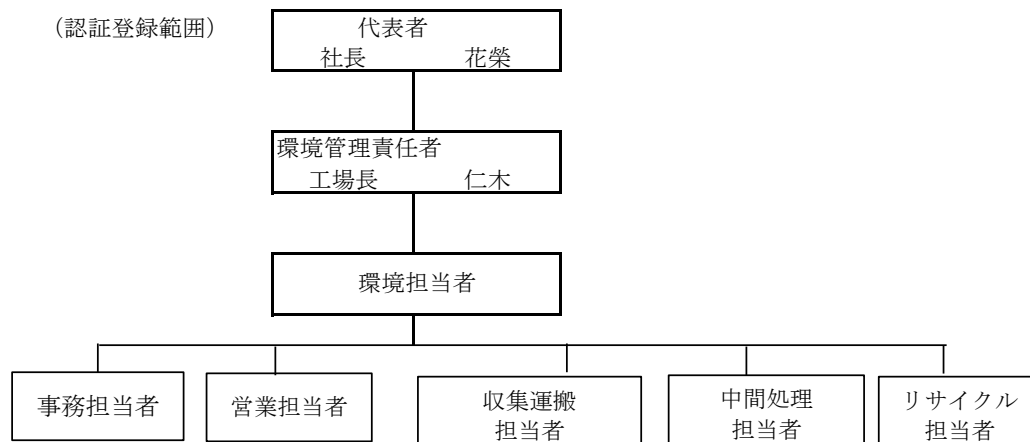
登録組織名： オメガオイル株式会社  
対象事業所： 本社・中間処理工場

活動： 産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物中間処理業  
特別産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物中間処理

## □事業の紹介

当社は、エンジンオイル、工業用オイル等の廃油を再生し燃料油として販売している会社です。機械に付随する油タンク清掃、切削油タンク清掃、抜き取り等も同時に行っています。その他、産業廃棄物の収集運搬、処分業者でもあります。CO2削減が叫ばれる昨今少しでもリサイクル出来る様日々努力しております。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境担当者の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
環境担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> <li>・環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																	
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい			
兵庫県	第02814012126号	令和2年10月24日	令和7年10月23日	有	○	○							○		○							
兵庫県	第02814012126号	令和2年10月24日	令和7年10月23日	無			○	○					○		○	○	○					
大阪府	第02700012126号	令和2年7月1日	令和7年6月30日	無									○									
岡山県	第03000012126号	平成31年2月10日	令和6年2月9日	無									○		○							

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																	
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい			
兵庫県	第02854012126号	平成31年3月1日	令和6年2月29日	無											○							

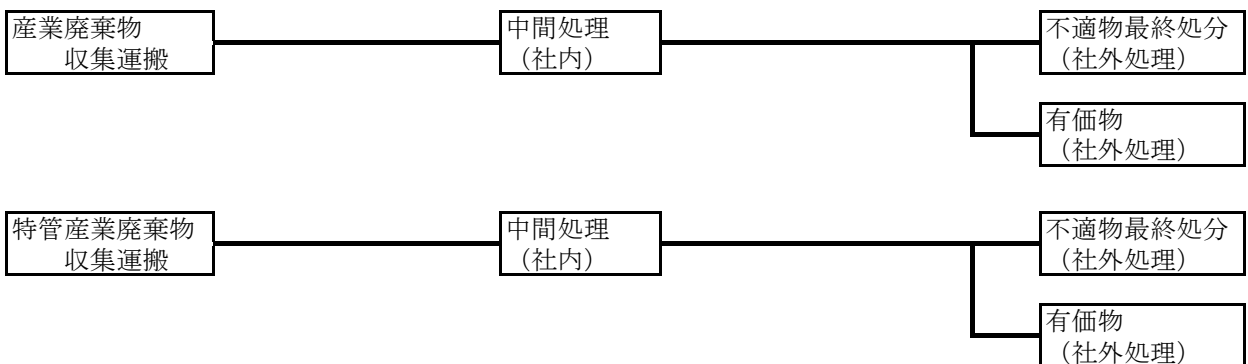
産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類																			
					中間処理	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず	廃油	汚泥	廃アルカリ									
兵庫県	第02824012126号	令和2年10月24日	令和7年10月23日	油水分離											○									
				焼却													○	○						
				エマルジョン燃料化													○							

特別管理産業廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類																	
					中間処理	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず	廃油	汚泥	廃アルカリ							
兵庫県	第002874012126号	平成31年3月1日	令和6年2月29日	焼却													○					

□廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

※基準年度：2016・17・18年間平均値

項目	単位	基準年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	67,378	71,236	71,597
受託収集運搬量	トン	2,478	2,400	2,374
受託中間処理量	トン	2,478	2,400	2,374
受託最終処分量	トン	22	8	12
廃棄物排出量	トン	0.37	0.37	0.40
一般廃棄物排出量	トン	0.37	0.37	0.40
産業廃棄物排出量	トン			0
水使用量	m <sup>3</sup>	604	671	699

※二酸化炭素排出係数 0.509 kg-CO<sub>2</sub>/kWh ハルエネの調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2021年		評価	2022年	2023年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	6,131	5,947	8,534	×	5,886	5,824
	基準年度比		97%	139%	×	96%	96%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	105.4	102.3	129.0	×	101.2	100.2
	基準年度比		97%	122%	×	96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	36,070	34,988	36,502	×	34,627	34,266
	基準年度比		97%	101%	×	96%	95%
灯油使用による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	25,072	24,570	26,431	×	24,069	23,818
	基準年度比		97%	105%	×	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	67,378	65,607	71,597	×	64,683	64,009
一般廃棄物の削減	kg	372	353	401	×	342	339
	基準年度比		95%	108%	×	93%	90%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%		41%	46%	○	42%	43%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	604	586	699	×	580	574
	基準年度比		97%	116%	×	96%	95%
環境に配慮した収集運搬	行動目標（次項による）						

## □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	目標未達成 再生油、エマルジョン燃料油の高品質化が求められ製造機械の稼働率が高くなった要因も有り、その都度作業工程を見直し努力したが目標未達成であった 今後も高品質を要求されると思われる為、効率の良い行程を日々考え行動する 焼却炉の稼働率を下げる様努力する(リサイクル率アップを図る)
・空調温度の適正化(室温冷房28℃ 暖房20℃)		△	
・自社焼却時間の短縮		△	
・処理工程の効率化		△	
・省エネ機器の導入		○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検		○	
LPGによる二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	目標未達成 今年度は、冬場の作業ホースの油除去の為、使用量が増え目標未達成。二酸化炭素排出量に占める割合は少ないがホースの油除去が度々あるのなら目標値の変更を考えなければと思われる。湯沸し器、コンロの使用については引き続き抑える様継続する。
・給湯器の点検		○	
・湯沸かし器の出しっぱなしをしない		○	
・温水温度の適正化		△	
自動車燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	ガソリン使用量 目標未達成 ガソリン車に関し前年より遠方への営業も有り未達成。以後達成手段を心掛け継続する。軽油使用量目標達成 タンクローリー、ブローア(清掃車)は、エンジンをかけたまま収油作業をする為、作業時間、回数等により軽油消費量が増減する。今後の行動として、作業効率をを上げ時間短縮できる様努める。
・アイドリングストップ		○	
・効率の良いルートでの営業		○	
・効率的、計画的収集運搬		△	
一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	2019年より自社焼却部分的にペーパーレスはしているが、まだまだ書類関係はペーパー使用率が高く、外注処理ではなく自社焼却している。中長期には紙類等リサイクルして少しでも焼却炉運転時間短縮につながる様務める
・分別の徹底		○	
・帳票見直しによる印刷物の削減		○	
・容器類の再利用		△	
受託廃棄物のリサイクル率の向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	目標達成 今年度は、受け入れ量基準年に比べ減少し、エマルジョン燃料が少し増産出来た事、排出先の分別が出来た為、リサイクル率アップし目標達成できた。焼却物原料には至ってないので、焼却物原料を心掛けリサイクル率工場に努める
・基準年の受け入れ量の確保		×	
・エマルジョン燃料の増量		△	
・排出先の分別徹底の依頼(随時依頼)		△	
水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	目標未達成 年間を通じ節水に心掛けた 受託量が減少ながらも焼却物の減少にはならず、焼却炉の運転時間短縮に繋がらなかった。次年度は焼却炉運転短縮のみならず、作業、手洗い等コロナ禍のなかではあるが節水に心掛ける
・節水シールの貼り付け		○	
・出しっぱなしで作業しない		○	
・洗車管理(回数・時間短縮)		○	
環境に配慮した収集運搬		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検		○	事前に回収ルートを決め、エコドライブを心掛けて作業、回収を図った点良かったが、軽油使用量削減はできなかった。今後はさらに回収作業効率の良くなる方法を考え行動する。
・エコドライブの推進(燃料使用量は別項目で実施)		○	
・積み残しの削減		△	
・車両の清掃		○	
灯油使用量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	目標未達成 焼却炉運転時間短縮に努めるも目標未達成に終わった 次年度については、早く焼却できる物、長時間かかる物をバランス良く焼却する要心掛け焼却炉運転短縮に努める
・焼却物の削減		△	
・焼却炉の焼却時間の短縮		○	
・焼却炉の点検		○	

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	○
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限	○
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）の適正な処理	○
水質汚濁防止法	定められた適正な水質で排水	○
大気汚染防止法	焼却炉排出ガス基準の遵守	○
自動車Nox・PM法	規制に適合した車両使用	○
水質汚濁法	煮湯設備、洗浄設備	○
浄化槽法	浄化槽	○
下水道法	除害施設	○
消防法（危険物）	危険物の保管	○
家電リサイクル法	特定家電機器の適正処理	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検及び記録	○
顧客要求事項		

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年9月30日

昨年度は、コロナウィルスに始まりコロナウィルスに終わった一年でありました。今年度は、コロナも徐々に落ち着きはじめ、人の往来も徐々に緩和されて来たところに物品の価格が上昇しはじめたのに対し、当社の再生油価格は据え置き状態です。そんな中エコドライブ、効率の良いルートでの収集、環境に配慮した運搬を心掛けた点及び整理整頓の習慣も継続している点も評価できます。従業員全員で計画し、目標を決め行動していますが、まだまだ目標達成とはいかないのが現実です。地球温暖化防止に少しでも協力できるようエコアクション21の取り組みを推進し、環境活動に関する意識を高めることによってよりよい方向へ改善し目標達成できる様日々新たな気持ちで努力して下さい。

尚、これからは再生油・エマルジョン燃料の高品質を今以上に求められると思います。その為、設備機械の稼働も増え、使用電力量等増加傾向になると思われまますので前年度以上にCO2削減に心掛けて行動して下さい。

代表取締役 花榮 佳介

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり

## □これまでの環境活動の紹介

- ・兵庫県資源環境協会東播磨支部内では、県と協力し地区内での不法投棄のパトロール及び回収作業を実施しておりそれに参加協力しています。
- ・当社はエンジンオイル、工業用オイル、の廃油を再生油としてリサイクルしており、廃油関連の産廃物も回収し、リサイクル化を目指し努力しています。